



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：大阪市政記者クラブ)

2019年1月11日
大阪市立大学
ソフト産業プラザ TEQS

目的地まで自動で案内

視覚障がい者の歩行を案内する車輪付き杖装置
～複合商業施設にて実証実験を実施～

大阪市立大学大学院工学研究科 機械物理系専攻の今津 篤志（いまづ あつし）講師らの研究グループは、2019年1月16日（水）、17日（木）の両日、大阪南港の複合商業施設「アジア太平洋トレードセンター（ATC）」にて、「視覚障がい者の歩行を案内する車輪付き杖装置の実証実験」を実施します。

今津講師らが開発した車輪付き杖装置は、車輪の付いた杖型の視覚障がい者向けの歩行者案内システムです。杖の先端に車輪、センサ、コンピュータが付いており、先端の車輪を接地させたまま杖を介して装置を押して歩行することで、あらかじめコンピュータに設定された地図情報に従って車輪が操舵を行い、歩行者を案内します。

同装置のATCでの実証実験は昨年度に続き2回目となります。昨年度は目が不自由ではない方を対象に「事前に設定した目的地まで利用者を案内できるか」の検証を行いました。今年度は、視覚障がいがある方を対象に、ステアリングやブレーキなどの案内意図が利用者に正しく伝わり、装置が案内する軌道を安全に追従できるかの検証を行います。不特定多数の利用者が行き交う公共空間で実証実験を行うことで、技術の向上や活用範囲の拡大、社会実装を目指します。つきましては、ぜひご取材について検討くださいますようお願いいたします。



昨年度の実証実験の様子

1. 実施日 2019年1月16日（水）、17日（木）
2. 場所 アジア太平洋トレードセンター（ATC）
ATC O's 棟北館・南館2階共用部、ITM 棟2階 共用部
3. 実験内容 ATC O's 棟南館とO's 棟北館をつなぐゲートアトリウムからITM 棟北側出口までの経路（約400メートル）を車輪付き杖装置を用いて歩行。その後、被験者に聞き取り調査を実施。
4. 目的
 - ・車輪付き杖装置の案内意図（ステアリング、ブレーキ）が視覚障がい者に正しく伝わり、装置と利用者が意図した軌道を大きな誤差なく追従できることを確認。
 - ・車輪付き杖装置を用いて、他の歩行者がいる中でも衝突などを避けて長距離を案内できることを確認。
5. その他 本実証実験はAIDOR共同体が大阪市からの委託を受けて行うものです。

【本件に関するお問合せ先】

ソフト産業プラザ TEQS

担当：松出（まついで）

TEL：06-6615-1000

E-mail：kouza@imedio.or.jp

【ご取材に関するお問合せ先】

大阪市立大学広報室

担当：長谷川

TEL：06-6605-3411

E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp